

# ISO上層委員会等報告会

## 第110回 ISO理事会 報告



一般財団法人日本規格協会  
システム系規格開発ユニット  
中川 梓

# ISO Council (理事会)

## ◆ ISO理事会とは

- ISOの中心となる統括組織
- 構成：ISOメンバー機関代表20名、ISO役員、政策開発委員会議長 (CASCO、COPOLCO、DEVCO)
- 議長：ISO会長または副会長(政策)
- 年3回の会合
- 財務監事、TMBメンバー、政策委員会議長の指名

## ◆ 理事会メンバー機関

### グループ1

AFNOR(仏) (2020)  
ANSI (米) (2020)  
BSI(英) (2020)  
DIN(独) (2020)  
JISC(日) (2022)  
SAC(中) (2022)

### グループ2

ABNT(ブラジル) (2021)  
KATS(韓) (2022)  
SCC(カナダ) (2022)  
SIS(スウェーデン) (2020)  
UNE(スペイン) (2021)

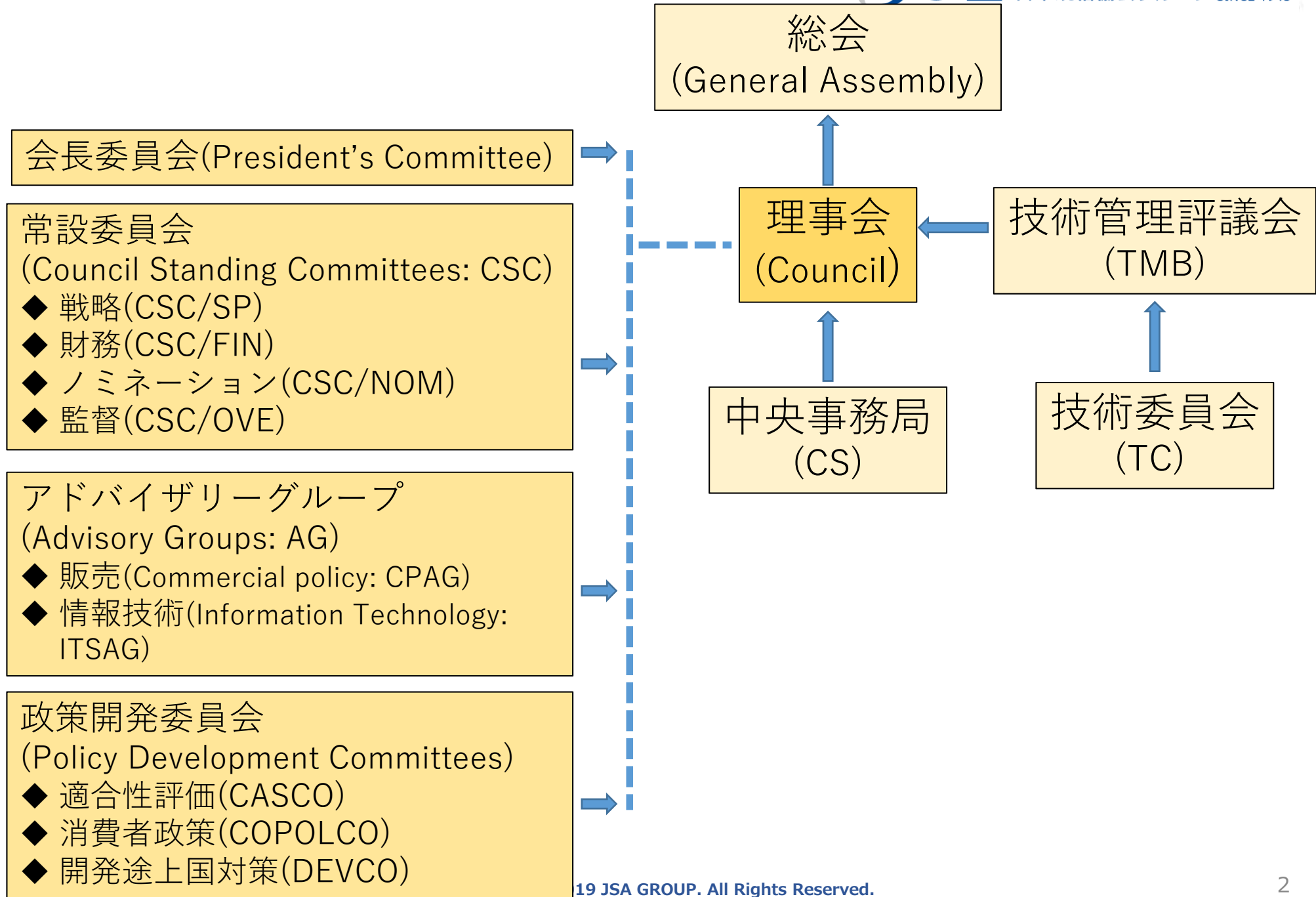
### グループ3

BSN(インドネシア) (2020)  
ESMA(アラブ首) (2022)  
IRAM(アルゼンチン) (2021)  
KAZMEMST(カザフスタン) (2020)  
SOSO(サウジアラビア) (2021)

### グループ4

HZN(クアチア) (2021)  
INACAL(ペルー) (2022)  
INTECO(コスタリカ) (2020)

# ISO Council (理事会)



## 議題4～事務総長の活動報告

### <主な報告事項>

- 2019年は、総会、3政策開発委員会（CASCO、COPOLCO、DEVCO）の総会がアフリカで開催された特別な1年となった
- 取り巻く環境（景気が未だ不調、貿易転換、新しい技術分野）へ適応していく必要がある
- 優先して取り組んだ活動
  - ISOメンバーとの関係を密にしておくために、地域グループの会合への参加、メンバー訪問等を実施
  - 他の国際組織やパートナーとの関係強化－IECやITUとの協業、IQNetとの会合
  - 2019年戦略実施計画－Q2時点で概ね順調
- 事務総長の目標の実施状況
  - 予算管理、規格開発プロセスの管理、2019年戦略実施計画の展開、キヤピルの作業プログラムの展開 等
  - 6つの目標が概ね順調に推移

## 議題5.1～2019年戦略実施計画の進捗

### <背景>

- ISO戦略2016-2020に対する2019年戦略実施計画
- 2019年実施計画の進捗を四半期ごとにCSC/SPと理事会に報告することになった（2018年9月 決議43/2018）
- 戦略実施計画を更新し、戦略実施計画に含まれる各プロジェクトのパフォーマンスと達成状況を示す
- 計画に含まれるプロジェクトのステータス、進捗度を確認し、全般、リスク、懸念事項、リソース、財務、適時性の観点で各プロジェクトの健全度を評価

### <主な報告事項>

- 16件のプロジェクトのうち、10件が問題なし、5件が進捗はしているがリスク、懸案、リソースなど若干問題あり、1件が中止。全体として94%のマイルストーン達成率

## 議題5.2～ANSI及びSIIのIBRポータルに関する年次査定

### <背景>

- IBR (Incorporated by Reference)ポータル ～ 国内法に取り込まれている規格へワンストップにアクセスできるようにするもの。当該規格を読み取り専用で無料閲覧できる
- ISO理事会は、2015年にANSI(米) に76件、2016年にSII(イスラエル)に88件のISO規格の使用を承認。ANSI、SIIは年次報告を求められる

### <主な報告、意見>

- ANSI及びSIIからは、ポータルへの訪問者数、規格の閲覧回数等とともに、規格の売上げに影響はないことが報告。
- IBRポータルによるISO規格の利用は、ISOの販売システムに穴をあけることになるという意見もあったが、総体的に、ネガティブな影響はない、閲覧できることにより販売が促進されるという受け止め

## 議題5.4～地域関与ガイドライン実施報告

### <背景>

- ISOメンバーが地域でステークホルダーの関与を支援するための指針を承認（2018年2/3月 決議6/2018）
- CSC/SPが実施状況のフォローアップ報告書を提出(2019年6月)

### <主な報告>

- ISO/CSは、本指針を14件の事例とともに、ISOメンバーに公開するとともに、これらを基に、自国/地域のニーズに適した活動をするように奨励。また各メンバーの取組みを支援
- ISO/CSでは、本指針が成功裏に実施されていると考えており、今後も事例や提案を歓迎するとともに、適宜指針を見直す
- ISO/REIシンガポールに関する決定は、2020年9月を予定

## 議題6.1～ISO/CSの中間財務報告及び2019年見込み

### <2019年中間報告>

kCHF

	2019年Q2実績 (6か月)	2018年Q2実績 (6か月)	2019年見通し (12か月)	2019年予算 (12か月)
収益	22,229	23,159	42,871	41,666
費用	18,691	18,644	39,232	40,966
剰余	3,538	4,515	3,639	700

- 財政状況は引き続き問題がなく、3,639kCHFの黒字を見込んでいる
- 販売及びロイヤリティによる収入は予算を超過する見込み
- ISO/CSの職員の予定外の離職等により賃金は予算を下回る見込み
- IT運営コストの減少



## 議題7.1～理事会傘下の組織の業務計画の承認

### <背景>

- 理事会傘下の組織の年次業務計画を策定するプロセス(2019年6月 決議 31/2019)
  - 戦略的、財務的な考慮事項を反映させるために、翌年の計画を6月の理事会後に作成を開始する

### <結果> 決議番号51/2019

- 以下の組織の2020年の業務計画を承認
  - 常設委員会(CSC/SP、CSC/FIN、CSC/NOM、CSC/OVE)
  - 会長委員会
  - TMB
  - 政策開発委員会(CASCO、COPOLCO、DEVCO)
  - アドバイザリーグループ(CPAG、ITSAG)

## 議題7.2～ノミネーションプロセスの見直し

### <背景>

- CSC/NOM の2019年業務計画に基づき、以下を提案することとなった
  - ISO会長のノミネーションプロセスの改善
  - 財務監事のノミネーションプロセスの作成
- 現行ルールから、以下が検討事項として提示。
  - 会長のプロフィールの明確化。ISOメンバー機関（NSB）のCEOが会長に選出された場合、CEOを辞任すべきか

### <審議内容・結果> 決議番号52/2019

- 会長は産業界から出るべきとの強い意見あり。
- 現行ルールは産業界からの会長選出を妨げていない。
- 決議に、「“industry background”を持つ候補者が非常に望ましい(strong preference)」と入れることとなった

## 議題7.3～TMBメンバーの選出基準の定期見直し

### <背景>

- TMBメンバーの選出基準の3年毎の見直し。前回は2016年。
- 現行基準は以下の3つ
  - TC、SC、PC幹事国数：55%ウエイト
  - TC、SC、PCのPメンバー資格の数：30%ウエイト
  - 支払ったユニット数：15%ウエイト

### <審議内容・結果> 決議番号52/2019

- WGへの関与や共同幹事の数も重みづけに考慮できないかとの意見あり。
- 事務総長が状況を分析し、次回理事会(2020年2月)で報告。

## 議題7.4～COPOLCO議長の再任

### <背景>

- 現COPOLCO議長、 Mr. Guillermo Zucal (IRAM/アルゼンチン)の任期が2019年12月末で満了
- ISO施行規則に従い、2期目の任命は可能であり、本人も任命を受けた場合、2期目の議長職を受ける意向

### <結果> 決議番号 55/2019

- Mr. Guillermo Zucal (IRAM/アルゼンチン)をCOPOLCO議長（任期2020－2021年）として再任

## 議題8.1～2020年戦略実施計画

### <背景>

- ISO戦略2016-2020に対する2019年戦略実施計画を策定(2018年9月)
- 事務総長が2019年実施計画の実施状況を確認。2020年への継続案件を識別するとともに、新規にとりあげるべき案件を検討。
- 9件（継続6件、新規3件）を特定。

### <審議内容・結果>

- 理事会は2020年戦略実施計画を承認。計画は定期的に進捗の確認を受ける
- 新規3件は以下の通り
  - ジェンダー平等に関する行動計画の実施
  - 地域関与ポリシーの作成
  - ISO見通しの枠組みと実施(R&Iプロジェクト)

## 議題8.2～ジェンダー平等に関する行動計画

### <背景>

- ISOは国連SDGsを積極的に支援することを表明(2018年 総会)
- 事務総長に、ジェンダー平等に関する行動計画を策定することを依頼(2019年2月 理事会)
  - UN SDG 5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る」

### <審議内容・結果>

- 事務総長が策定した計画案を審議し、大筋で承認
  - 2019-2021計画
  - 現状分析、グッドプラクティスの収集、ジェンダー対応性の評価、方針の策定
- 性別だけではなく、障害者への配慮等、より広く「平等」と考えるべき
- ジェンダー平等は重要であるが、規格開発に何が必要かの本質を見失わないようにすべき

## 議題8.3～CSC/SP-TMBタスクフォース～次世代を標準化にいか に惹きつけるか

### <背景>

- 規格開発に若い世代のエキスパートをいかに惹きつけ関与させるか
  - 数年来の議論の対象
  - 2017年総会 ブレークアウトセッション
- TMBでの議論(2019年6月)－ISO全体としてこの問題に取り組むため、CSC/SPとの共同タスクフォースを提案(TMB決議(54/2019))

### <審議内容・結果>

- ISOがリスク大と考える－「マーケットニーズに適合できない」「次世代を惹きつけられない(エキスパート不足)」
- TMBとの共同タスクフォースを設置することとし、CSC/SPが主導する (決議番号60/2019)

## 議題8.4～基盤規格に関するTMB報告

### <背景>

- TMB決議 89/2018に基づき、IECとのジョイントタスクフォースを作り、  
基盤規格(foundational standards)に関する調査を行った。

### <主な内容>

- TMBはTFの推奨に基づき、以下を承認
  - 水平規格類(horizontal deliverables)の定義  
規格化された規格類全体の一貫性を確保するために、多数の委員会又は部門  
に関連する、或いは、極めて重要な主題を扱う、規格類
  - ガイダンス文書(規格開発者向け及びユーザー向け)の作成をISO/CSに  
要請
  - 水平規格類を識別するプロセス
    - 水平規格類の開発する場合、委員会は「水平規格類」の定義への準拠を  
TMBが確認できる根拠を通知
    - 既に発行した規格類を「水平規格類」と見なす場合、定義への準拠をTMB  
が確認できる根拠をTMBに通知。



## 議題9.1～ISO中央事務局の2020年予算

### ■ 2020年予算案を承認

kCHF

	2020年予算	2019年見通し	2019年予算	2018年実績
収益	43,040	42,871	41,666	44,079
費用	-42,257	-39,232	-40,966	-38,141
剰余	783	3,639	700	5,938

- 収入3.3%伸び、支出3.2%伸び。2019年に比較し、人件費、ITコストが増加

- 理事会は本予算案を承認 決議番号61/2019
  - キャパビルに対し第三者のドナーの必要性を訴える意見あり

## 議題9.2～財務モデル

### <背景>

- 新財務モデルを決議採択（2019年2月）（決議番号14/2019）
  - 「上限付きロイヤリティ」の採用
  - 各国の経済力を反映した会費（ユニット単価×ユニット数）の150%を支払いの上限とする
- 3年後に実施状況を評価することに同意

### <審議内容・結果>

- 新モデルがISOメンバー全員に公平であること、どのような恩恵があるかがきちんと説明されるべき
- 開発途上国にネガティブな影響はない
- 2020年より新モデルを適用。2020年総会時にISOメンバーに対し新モデルのメカニズムを説明する
- 事務総長は2022年2月の理事会で新モデルの実施状況の評価結果を報告

## 議題10.1～CASCO議長の指名(任期2020年～2021年)

### <背景>

- 現CASCO議長が2期目の任期を2019年末で終了をするため、候補者の推薦が求められた。
- 2名の候補者が推薦され、CSC/NOMで書類確認を行い、選考基準を満たしていることを確認

### <審議内容・結果>

- 理事会メンバーで無記名投票を実施
- Mr. Reinaldo Balbino Figueiredo (ANSI, 米国)をCASCO議長（任期2020～2021年）として指名（決議番号63/2019）

## 議題7.5及び7.6～今後の日程

### <理事会>

- 2020年2月19－20日 ジュネーブ
- 2020年6月10－11日 シンガポール
- 2020年9月22日 アブダビ
- 2021年2月24－25日 ジュネーブ
- 2021年6月9－10日 京都
- 2021年9月22日 ロンドン

### <総会>

- 2020年9月23－24日 アブダビ
- 2021年9月23－24日 ロンドン
- 2022年9月末 シドニー

# ご清聴ありがとうございました

## お問い合わせ

日本規格協会グループ  
国際標準化戦略ユニット

[kousai3@jsa.or.jp](mailto:kousai3@jsa.or.jp)